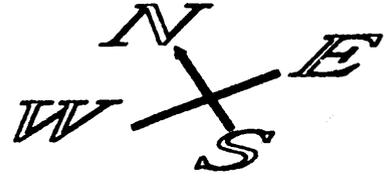


エコネット

藤沢環境運動市民連絡会議
(略称 藤沢エコネット)



- 主 事 ・ 自転車サイズのまちづくり
- な 事 ・ 第4回武田薬品住民訴訟裁判
- 記 事 ・ 地球温暖化防止のための都市政策を考える
- 事 事 ・ 清潔志向が環境悪化を招く

事務局〒252-0816 藤沢市遠藤849-9 青柳
 ☎ / F A X 0466-87-4922 (夜間のみ)
<http://comcom.jca.apc.org/econet/>

ハワイはパワースポット

「この木なんの木、気になる木、名前も知らない木ですけど・・・とCMに出てくる木はハワイのモンキーポッドで、日本のねむの木にあたる木です。」開口一番バスガイドが言ったコナ国際空港を出た車窓からは、この不思議な木がゆったりと大小様々に見渡せた。1959年ハワイ州が誕生、50周年にあたりレイをいただく。コナはコナコーヒーで有名なところなのだが、着陸した国際空港の建物はなんとテント張り、日本旅客機のために臨時に開くだけだからというが、見栄をはらない合理的な考え方だ。19世紀にハワイを統一、ハワイ王朝を築いたカメハメハ大王は歌にも歌われている。統一後争いはなく、ポリネシア系の現地人と中国、日本からの多くの移民が平和に暮らした。今でも米州でありながら、人種問題は「ない」という。

「ない」と言えば、花粉症もない。ヤシの木やマンゴーなど熱帯性高木が豊富なので様々な花粉は飛んでいると思うが、空気がきれいな故なのか。時々マンゴーが上から落ちてきて怪我をするから気をつけなさいと言われた程多く生えている。生き物にもたくさん会った。レストランに平気で小鳥が入って来るし、黒砂海岸ではアオウミガメ2匹が甲羅干しをしていた。鳴き声から名前が付いたというネーネー（ハワイガン）にも会えた。

屋外のルアウディナーショーは圧巻だった。地面に掘った直径3m程のカマドから蒸し焼きにした豚を取り出して切り分け食事をする。舞台では女性はフラ、男性は力強い狩り踊りや火を使ってたくましい裸体で踊る。インディアンとは違う現地人の昔の生活を彷彿させた。フラは神への祈り、神とのコミュニケーションで、動作一つ一つに意味があるという。ヤシの木の先には海の彼方に橙色の夕日が落ちて行った。

世界遺産のキラウエア火山は噴煙をあげ、昼間は白い煙に見えたが夜は高温のため、赤い炎に見えるという。遠く4000m級の山マウナ・ロアまたマウナ・ケア山頂の日本のすばる天文台等がはっきり見え、太陽に照らされ光っていた。

ハワイの島々は火山の噴火によりできては西に流れ次々生まれたという。訪れるとリュウマチが良くなるので研究してアルミナ等鉱石を用いて製品化した日本の会社もある。ポハク・ストーンやハワイアンソルト、またグアバの木のロミロミ・スティックやフラワーエッセンスの数々等、癒しに効果があるようだ。地元でパワースポットと呼ばれる場所もいくつかある。ハワイは自然の力が確かに満ち満ちているようだ。 (青柳節子)

清潔志向が環境悪化を招く

～アトピーからがんまで～

第42回の藤沢市消費者大会が開催され、講演は藤田紘一郎さん（人間総合科学大学教授）でした。

先生はとてもユニークなかたでテレビの「爆問学問」のお話や、NHKの「よーこそ先輩」にも出演なさったのでテレビで知った人も多いと思います。

アレルギーの研究をしています。医師で熱帯病を専門として、カイチュウ、サナダムシなど寄生虫の研究もやって「免疫力を高めて病気に強い身体作りを」と訴えます。

東洋医学では「自然治癒力」というが西洋医学ではがんはなおすことができません。

先生は体内にサナダムシを飼っています。害はないので快適だそうで「キヨミちゃん」と名付け共生しているとのこと、とても変わった人だと仲間にもいわれるそうです。

また、笑いを趣味にしている、この研究をしなかったらコメディアンになるかと決めていたほどのユーモアのある先生でした。

笑いも免疫作用があることが分かっています。

40年前まではアレルギーは無かったが回虫駆除の海人草を飲まされ駆除した経験は年配の方ならあると思います。その頃は杉鉄砲で遊んでも花粉症はありませんでした。最近、アレルギー病が急に増えて、10歳以下の子どもは約40%がアレルギー性皮膚炎、花粉症は日本人の5人に1人は罹っています。

ウンチの話ですが、東南アジアでウンチのそばで遊んでいる子ども達はみんな肌がツルツルしていてとても健康そうでした。1万年前の人間と現在の人間では身体の構造は変わっていないが文明や文化が生活を変えてきました。大腸菌は悪さをしないし、免疫力は腸内細菌がつくっています。カイチュウや細菌、ウイルスなどの微生物と人間が付き合っているとアレルギー反応を抑えられるという研究を重ねてきました。その結果、微生物を排除し「きれい社会」がアレルギーを促進していることがわかりました。

汚い子どもを見るとその子の親を尊敬する。なぜかという泥んこ遊びなどをすると大腸菌などにさわり免疫力となるからです。

細菌類を死滅させる防腐剤入りの食品や、抗生物質、殺菌剤入り食品をとるようになり、免疫力の低下した日本人を作り上げ、更に免疫力の低下は精神面にも影響を及ぼし、感性や情熱を失った若者を作り出してきているといえます。

次ような方法で子どもの免疫力を高めましょう

「①落ちたものは食べさせる ②手足をなめる ③ゴキブリやダニを不快と思わせない」

「きれい社会」の影響で物をきれいに見せる過剰な包装紙はダイオキシンを作り出し、また毎日ワイシャツを洗うことによって洗剤の環境ホルモンを地球上に放出しています。

私たち人類は文化や文明をつくる生物種です。このようなきれいな社会や快適な環境をつくってきたのは仕方ないことかも知れないが、そこに「落とし穴」があったのです。

(日比 遙)

「地球温暖化防止のための都市政策を考える」学習会

先日、藤沢エコネットの勉強会で「地球温暖化防止の為の都市政策を考える」というテーマで藤沢市地球温暖化対策地域協議会会長の大西さんの講演をお聴きする機会があり、初めて参加させて頂きました。環境省の委託事業ということで江の島を「エコ島」とする計画で、エコチャリとエコ島の二つの事業を柱としているとのこと。特にエコ島計画では「地域共同太陽光発電所構想」という20人くらいのグループを作り、家庭で消費する電力の15%を太陽光発電で賄うという試みです。江の島のように塩害のリスクが高いところでも太陽光で発電をまかなえるという環境面と観光面でアピールする事業とも考えられました。

個人単位でなく、グループ単位で行う点が目新しく、リスク分散できて設置しやすくなると感じました。

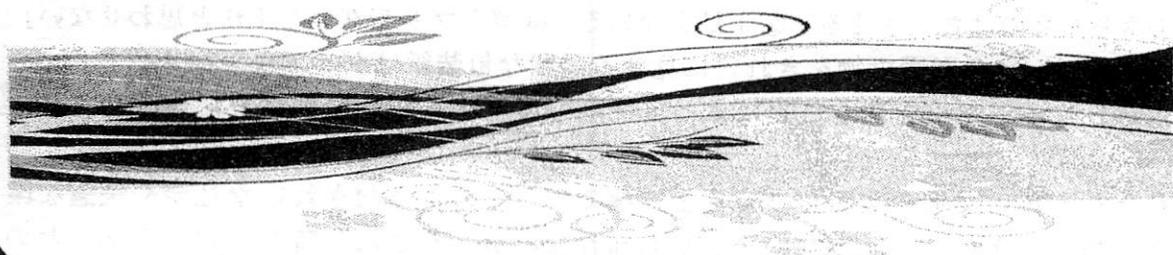
その後「藤沢市地球温暖化対策協議会」の定例会があることを知り参加させてもらいました。議題としてエコチャリ計画がありましたが今回は残念ながら見送りになりました。エコ島計画では財政面での問題があり23年度に事業化ができるかどうかということで環境省の判断がされるようです。

現時点における太陽光発電では、蓄電池におけるコスト、安全性、寿命など普及にむけての課題がありますが、今回の大西さんのお話では慶應義塾大学理工学部での研究テーマと重なっているとのこと財政面での心配はなくなりました。新しい希望のもてる施策が生まれることは市民にとっては嬉しいニュースです。

私の個人的な意見を申しますと江の島における環境を最大限活用し、どれだけ自然界からエネルギーを利用出来るのか、ということを目的にし、太陽光発電と共に風力発電も必要に思っています。風力発電は海外で自然エネルギーの主流でもあり、発電コストも低くまとまった量を発電しやすいため一定の評価があります。次世代送電網（スマートグリッド）でエネルギーをコントロールし電力量を融通しあうことが可能になれば、低所得層のひとたちや老人ホームなどの福祉施設に供給できれば、理想的な環境に思います。

日本がこれから目指す福祉国家の実現のためにも、持続可能な社会の構築のためにも自然エネルギーの活用が重要です。国や自治体がコスト支援をしてでも、活用を促進し、手軽に導入できるようになることを望みます。

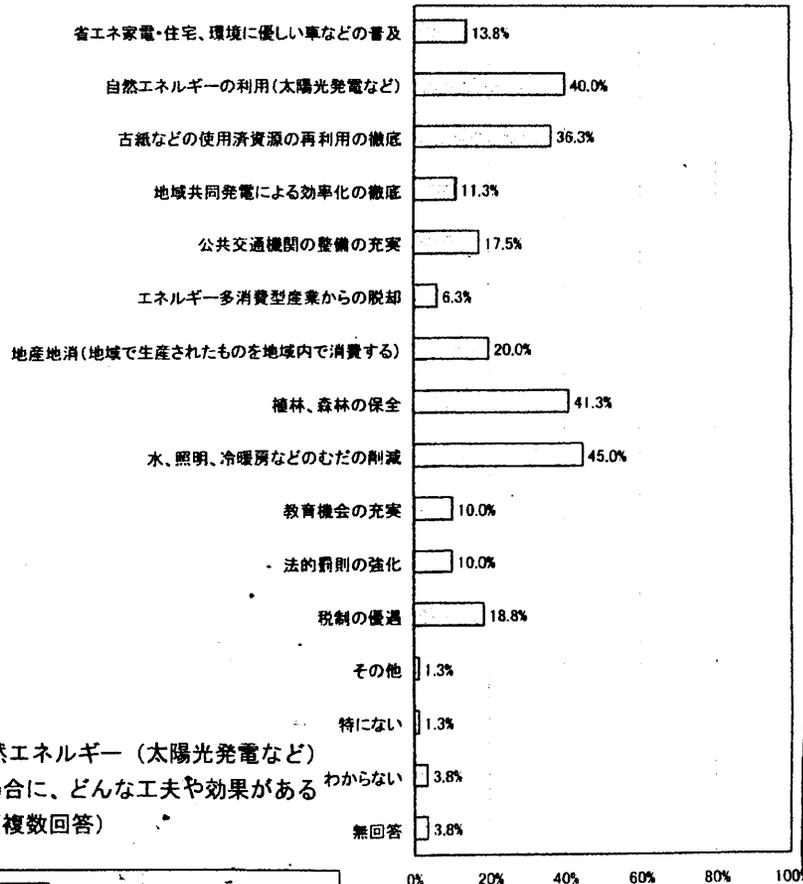
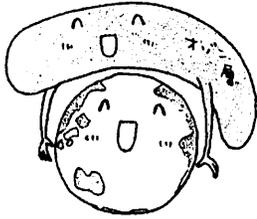
(宮部章子)



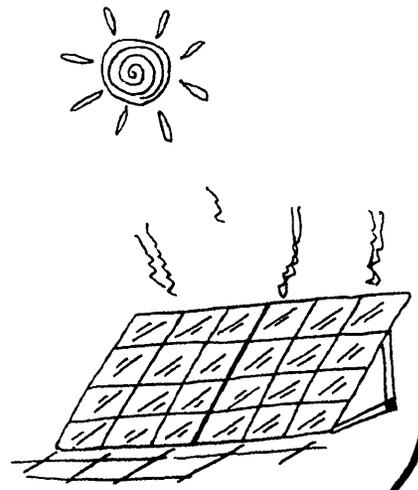
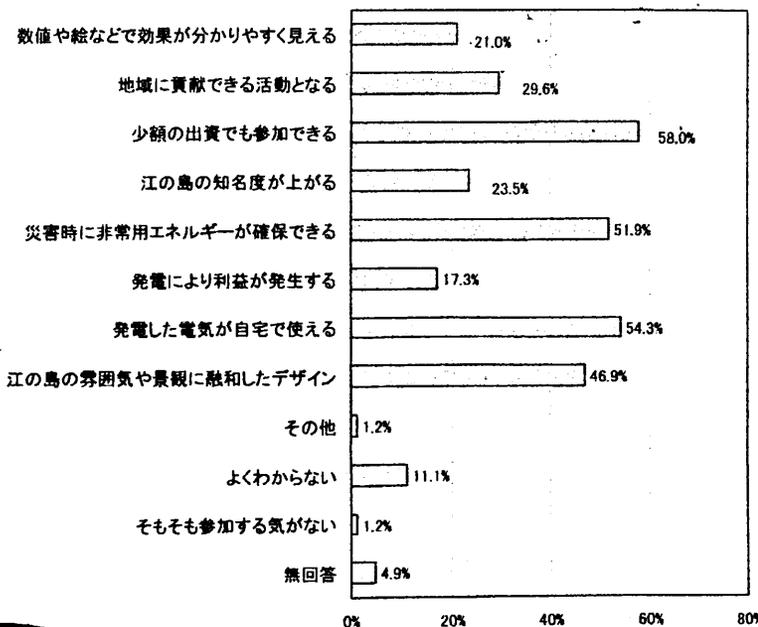
エコ島アンケート調査結果より

(資料：H21 低炭素地域づくり面的対策推進事業報告書 ランドブレイン(株))

■ 「環境に優しいまち」をつくるためにどのような取り組みが重要だと考えますか？ 特に重要” と思うことをお選びください (最大3つまで) (複数回答)



■ 将来的に江の島において、自然エネルギー(太陽光発電など)の発電設備を共同で導入する場合に、どんな工夫や効果があると参加を検討されますか？ (複数回答)



第4回武田住民訴訟裁判報告

4月14日午後2時より横浜地裁にて第4回武田住民訴訟裁判が行われました。住民側は弁護士先生2名の他傍聴は20名、市側から6名、武田2名が姿をみせていました。

今回の裁判で住民側は、新たに実験動物排水は産業廃棄物であり、武田薬品が自らが自己処理することが義務付けられており、下水道に流し込むのは違法である、との準備書面を提出しました。これで、住民側の主張は、武田薬品の排水を大清水浄化センターへ流し込むのは、「協定違反」、「生活排水ではなく危険な複合汚染排水の排出」、という主張と合わせて「違法な産業廃棄物の排出」という三つ観点からの違法、不法の主張となったものです。

藤沢市側からは2件の準備書面が出されました。

1件は前回裁判長から指摘された武田の排水の安全性に関する準備書面でした。内容は、武田の排水は県の環境アセスをクリアーしているから問題はない、特定施設を設置しているから問題はない、と県や武田の言っていることをそのまま鵜呑みにして安全性を強調しただけで、住民側が指摘している墨塗り部分のフローや数値の開示、水質検査の内容、実験動物の数、個々の機器の仕様表などは公開されず、企業秘密という美名の元に安全性を裏付ける数値は全く示されませんでした。原告側としては、次回裁判までに反論文を提出する予定です。

もう1件は、武田の排水を接続する污水管の工事が3月31日完了し、近く契約金を支払う所まで来ているから、原告の訴えの利益は喪失する、というものでした。要は、下水管工事が終わったから住民の訴えは棄却してくれといわんばかりの主張で、住民がどんな訴訟を起こしても、やっつけてしまえばもう訴えの利益はないよ、と言う市のやり得の主張は絶対に許されず、住民としては、下水管の接続使用差し止め、公金支出の損害賠償などの請求を次回までに準備して行く予定です。

次回裁判は、6月7日（月）午前10時30分より、双方書面等は5月末までに提出することとなりました。

裁判終了後、裁判所内で報告集会を行いました。集会の中で多くの方から、活発な意見が出されました。

（小林麻須男）

大気汚染（二酸化窒素 NO₂）測定結果

毎年、数団体で構成する藤沢の空気を考える会は、6月と12月に藤沢市の協力を得て、大気汚染（NO₂）簡易測定を行っています。2009年12月3日4日24時間の測定結果を報告します。

藤沢13地区平均は0.056ppmで、環境基準内（0.04～0.06ppm内またはそれ以下）にかろうじて入りました。決して良いとは言えません。特に大庭トンネルや用田など非常に悪い値が続いていて対策が求められます。片瀬などはとても良くなっています。

今年は相模沿岸空気の汚れを考える集会在藤沢市民会館で6月19日（土）に開催されます。減らない健康被害をテーマにシンポを行います。

来る6月測定は、第1木金の3日（木）4日（金）です。ご協力お願いします。（青柳節子）

測定結果の地域別集計

2009年12月

	道路沿い		非道路沿い		合計	
	件数	平均(ppm)	件数	平均(ppm)	件数	平均(ppm)
片瀬地区	6	0.057	8	0.056	14	0.056
鵜沼地区	13	0.082	8	0.045	21	0.068
辻堂地区	6	0.118	2	0.011	8	0.091
村岡地区	19	0.058	22	0.054	41	0.056
藤沢地区	27	0.036	12	0.028	39	0.033
明治地区	26	0.070	22	0.040	48	0.056
善行地区	15	0.039	11	0.031	26	0.036
大庭地区	12	0.101	4	0.013	16	0.079
六会地区	14	0.066	25	0.049	39	0.056
湘南台地区	3	0.039	8	0.059	11	0.054
遠藤地区	1	0.037	11	0.085	12	0.081
長後地区			6	0.031	6	0.031
御所見地区	11	0.097	6	0.034	17	0.075
全体	153	0.055	145	0.057	298	0.056

ワースト5

1	滝の沢中学校	0.274
2	辻堂西海岸スーパー前	0.178
3	羽鳥3-17-24	0.168
4	用田 637-1	0.167
5	用田(メッシュ)1-132	0.161

ベスト5

1	片瀬2-1	0.006
2	亀井野 1068	0.007
3	善行1丁目駅前	0.007
4	藤沢橋	0.008
5	片瀬海岸1-9-8	0.008

相模湾沿岸の空気を考える

「きれいな空気を求めて」講演とシンポジウム

藤沢市環境保全課職員 各団体 ほか

とき 6月19日(土) 13:30~16:30

ところ 市民会館第2会議室 資料代300円

主催 藤沢の空気を考える会ほか5団体 連絡先 26-9187

6月3日~4日にCO2簡易測定を行います。測定希望者はエコネット事務局まで



2010地球温暖化防止展

5月25日(火)~28日(金) 10:00-17:00

東京ビッグサイト東展示棟(ゆりかもめ国際展示場正門駅)

入場料 1000円

主催 (株)日報アイ・ビー

問い合わせ 03-5276-3466

環境フェア協賛行事

学んで楽しくクッキング

食の安全学習とケーキ作り

6月2日(水) 13:00-16:00

村岡公民館 参加費1000円

主催 新日本婦人の会藤沢支部

申し込み 26-1980真島

ドイツ 欧州の最新環境事情セミナー

5月19日(水) 15:00-17:00

(財)日本環境協会 中央区日本橋 馬喰町駅前

申し込み 03-5643-6255

武田薬品研究所下水道管敷設費用差し止め住民訴訟 傍聴を!

6月7日(月) 10:30時

横浜地方裁判所 連絡先 小林 44-0375

藤沢エコネットお知らせ

総会を開催します 万障お繰り合わせてご参加下さい

5月15日(土) 10:00~12:00 藤沢労働会館

環境フェア協賛 学習会

生物多様性と私たちの健康~ cop10に向けて~

講師 本間 慎 氏 (フェリス女学院大学前学長)

藤沢の3大谷戸の報告

6月13日(日) 13:30~16:00

藤沢市民会館 教養室 にて



会員募集→会費3000円 振込口座は→郵便局へ→00240-9-46501 藤沢エコネット

次回事務局会議 5月12日(水) 15:00~ 市民活動推進センターにて

《編集後記》連休はいかがでしたか? 高速道路料金が安いうちに…と誰しも思うが、政府はまたも高速道路を造るようで…不安な道路政策情勢である。さて今号は多彩な記事を取り上げることができ、読んでいただけたら幸いである。来月はいよいよ環境月間となり催しも多数予定されている。今から参加予定を入れていただき交流を深めていただきたい。(H)